

横芝光町の ここが聞きたい！

9月定例会
一般質問

～ 5名の議員が登壇し、町政を問う～

登壇者と通告内容

森川 貴恵 議員・・・P5

- ◆産直交流施設基本計画について
- ◆町の環境美化について
- ◆東陽病院の現状について

印東 彦治 議員・・・P7

- ◆社会体育施設の予約について
- ◆安全で安心なまちづくりについて

宮菌 博香 議員・・・P6

- ◆成田国際空港関係について
- ◆人事について

川島富士子 議員・・・P8

- ◆コロナ禍における諸課題について
- ◆安全で安心なまちづくりについて
- ◆優しさあふれるまちづくりについて



山崎 義貞 議員・・・P9

- ◆成田空港問題について
- ◆非核平和都市宣言問題について
- ◆防災対策問題について
- ◆鳥獣被害対策問題について

① 一般質問とは

町の行政全般について、執行機関に疑問点を問い見解を求めるものです。議会だよりに掲載される内容は紙面の都合上、要点のみとなっています。掲載できなかった質問は、町ホームページからご覧いただけますので、ホームページ内の「議会会議録」よりご覧ください。

なお、会議録の掲載は、議会終了後約3ヶ月を要します。現在、令和2年7月議会臨時会までご覧いただけます。



平成31年度末オープン予定 産直交流施設基本計画の現状は

建設事業は一旦休止状態



森川 貴恵 議員

一般質問

Q 産直交流施設基本計画の現状は

A 平成25年度から検討を始めた産直交流施設建設計画は、学校関係者の指摘、横芝光町まち・ひと・しごと創生会議からの意見、事業者の組織化や育成などの課題整理に時間を要すること、圏央道と銚子連絡道路の延伸や成田空港の更なる機能強化など、町を取り巻く社会や経済の環境が大きく変化していく中で新たな時代を見据えるため、建設事業は一旦休止させている状況です。

Q 一旦休止の状況を町民に知らせ

A パブリックコメント後、休止の周知は行っていません。計画や各種調査のために支払われた金額の総額は

Q 経費の総額は約1,161万円、その内1,084万円が調査や計画策定の経費となっています。

A 今後についての考えは

Q 産直交流施設については、棚上げ状態というのが正しい表現です。

A 産直交流施設については、棚上げ状態というのが正しい表現です。土地利用ビジョンの重点戦略に位置付けた「成田空港へ直結する幹線道路の整備促進 横芝光インターチェンジ周辺における複合拠点の形成」と連携し、計画区域内に民間活力も視野に入れながら検討していきます。

Q コロナ禍の中、影響を受けた美化活動行事やボランティア活動の対応は。

A 町内一日清掃、栗山川周辺環境ボランティアは中止としました。例年に比べ広く雑草が繁茂しており、やはりポイ捨てゴミ等が多い状況があるので、不法投棄監視員や地域

住民の協力で対応します。

Q 不法投棄の現状は

A 現在町内の産業廃棄物不適正案件は18件あり、町内全域にわたっています。

Q 不法投棄撲滅に向けた取り組み

A 産業廃棄物の処理責任は、当然ながら行為者であり、対応に苦慮しているのが正直なところです。今後も山武地域振興事務所と連携し、行為者に粘り強く働きかけていきます。また、不法投棄監視員や職員によるパトロールを定期的に行っています。行為者が特定できず民地に不法投棄されている場合は、町で対応できませんので、県や警察等へ連絡し対応していきたいと思っております。

Q 東陽病院の新型コロナウイルス感染症による影響は

A 新型コロナウイルス感染による院内感染が発生し休診とした影響が大きく、4月・5月の収入見込みに対する減収額は5,000万円程度で、今後更なる収益減が懸念されます。また、外来患者数・入院患者数についても、本年度4月から7月までは、前年同期と比べ外来で25%減、入院で4.6%減となりました。院内の感染防止を図るため、外来患者については、発熱や感染疑いの診察待ち時間が長くなる傾向にあります。入院患者についても、面会時間を事前に調整し短時間での面会としています。



東陽病院

ふれあい坂田池公園野球場の 利用者の偏りの改善は



印 東 彦 治 議員

Q 社会体育施設の
予約状況について

A より多くの町民
の皆様に利用していた
ため、施設予約管
理システムを利用
しておりますが、電話
でも受けている状況で
あり、横芝光町社会体
育施設施行規則第3条
第3項により、町内に
在住または勤務する方
は、利用しようとする
日の2か月前、それ以
外の方は、利用しよう
とする日の1か月前か
ら予約ができる規定と
なっております。

6月から7月となります
が、スポーツ少年団とそ
他の団体の3団体が利用し
12回であり、そのうち土日
祝日を多く利用している団
体はスポーツ少年団で、6
月は土日祝日が8日で予約
が5.5日、利用が2.5日、
7月は土日祝日が10日で予
約が10日、利用が6日であ
り、土日祝日の合計が18日
で、予約の合計が15.5日
で86%、利用の合計が8.
5日で47.2%でありまし
た。

など予約方法の改善に取り
組んでまいります。また、
社会体育施設などの予約方
法や利用方法について再度
周知徹底するとともに、定
期的な広報にも努めてまい
ります。

◀ふれあい坂田池
公園野球場



Q ふれあい坂田池
公園の利用状況
について

A 令和2年度につ
きましては、4
月、5月が新型コロナ
ウイルス感染症拡大防
止対策のため臨時休場
としておりましたので、

Q 利用者の偏りにつ
いて、町としてどのよ
うに認識しているか。

A 偏りがあることは認
識しております。よ
り多くの町民の皆様に利用
していただくためにも、運
用方法などを改善してい
く必要があると考えておりま
す。一例を申し上げますと、
一つの施設を1か月のうち
同じ団体が土日祝日の全て
を予約する場合は、活動状
況などを考慮し調整を行う

Q 防犯指導員の現状に
ついて

A 防犯指導員は町民の
安全で安心な生活を
維持するため、各地区から
推薦され、町長から委嘱さ
れた方たちです。現在は会

Q 災害廃棄物処理につ
いて

A 災害廃棄物処理の基
本的な考え方ですが、
災害廃棄物は一般廃棄物に
該当するため、処理主体は
町となります。当町におい
て一般廃棄物の処理は環境
衛生組合による広域処理と
なっておりますので、組合
や構成市町との連携が重要
となっております。町で
は現状に則した具体的な災
害廃棄物処理計画を策定す
ること、災害発生に備え
たいと考えております。

一
般
質
問

知的障害者（児）等への行政支援を

グループホーム等

支援ワーカーなどと連携を図る



川島 富士子 議員

Q 優しさあふれるまちづくりについて、「地域活動支援センターたんぽぽ」の拡充・町内における入所施設整備やグループホームの設置に伴う知的障害者（児）等への行政支援を。

A 「親亡き後問題」、障害者（児）の増加、障害福祉サービスを提供する施設の不足などの課題に対応するため、町が障害福祉サービスとして設置する「たんぽぽ」の役割について改めて整理する必要性を感じ、昨年度、利用者家族、指定管理者、町内障害福祉サービス事業者の意見を伺いながら「たんぽぽ」の在り方について検討を行いました。自立への早期移行、

他の障害福祉サービスとの併用、定年退所という利用に関するルールを設けることで、親亡き後を見据えた備えに繋がるとともに、定期的に新規利用者の受け入れが可能となり、世代間の公平性を確保できるものと考えております。入所施設は、障害のある方が地域社会の中で人々と共生し、その人らしく暮らせる環境を整備することが重要であるとして地域生活への移行の推進がされており、千葉県では新たな入所施設は設置せず、地域における住まいの場の確保として、グループホームの整備が最重要施策の一つに位置付けられております。障害者を対象と

するグループホームは、障害者総合支援法に基づき、主に夜間において日常生活上の援助を中心に自立した生活をするもので、孤立の防止、生活への不安の軽減、

共同生活による身体・精神状態の安定などが期待されております。当町も第5期障害福祉計画で「入所等から地域生活への移行、地域生活の継続の支援、就労支援等の課題に対応したサービス提供の整備」を掲げておりますが、人口減少と高齢化のため福祉人材の確保が難しく、なかなか新規事業者が現れない状況です。町は、障害のある方ができる限り身近な地域で生活できる環境整備としてグループホームは必要であると感じておりますので、県が設置しているグループホーム等支援ワーカーなどと連携を図ってまいります。



▶地域活動支援センターたんぽぽ

※その他の質問
 ◎コロナ禍における諸課題について（災害および今後の対策）
 ・地域全体で様々な災害に備えるための対策について
 ・第2波に備えた対策について
 ・避難所運営のあり方について
 ・小中学校の熱中症対策とGIGAスクール構想関連事業等について
 ・「新しい生活様式」に向けた諸施策の具体化について
 ◎コロナ禍における諸課題について（医療費等助成制度の現物給付化）
 ・ひとり親家庭等について
 ◎安全で安心なまちづくりについて（県道横芝下総線バイパスの安全対策）
 ・反射材などの整備について



山崎 義貞 議員

非核平和都市宣言している 当町の取り組みは

山武郡市平和行進への後援と激励

Q 当町は「すべての核兵器がこの地球上から廃絶される日が来ることを希求し非核平和を宣言する」と高らかに宣言をしています。非核平和の具体的な取り組みは。

A ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名（ヒバクシャ国際署名）に賛同するとともに、8月2日に行われました山武郡市平和行進への後援と激励をさせていただきました。戦争の悲劇や惨禍を二度と繰り返してはならないと将来に渡り伝えて行くことは、重要なことであると認識しているところです。

Q NNAが発表した「7月空港運用法」では、旅客総数が93%減、国際線利用が97%減、国内線利用が72%減となつてい

る。新型コロナパンデミックによって、新たな生活様式が求められてきているときに、「成田空港の更なる機能強化」を見直す必要が生じてきているのではないかと。多くの騒音下住民が反対している飛行時間の延長についても見直しをしておくことについてどのように考えるのか。

A 航空機の大幅な減便やターミナル内店舗

の売り上げの落ち込みなど、NNAの経営は厳しい状況にあると伺っています。しかしNNAからは、一定の期間が経過すると航空需要が回復するものと思われること、また、A滑走路の夜間飛行制限変更を含む更なる機能強化については、中長期的な航空需要に対するため必要な施策であることから、現段階では計画どおり進めると聞いており、当町もそのように認識しております。成田空港自治体連絡協議会では、8月21日に

「成田国際空港に係る新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書」を国に提出し、その中で更なる機能強化については、当初の予定どおり推進することを要望したところです。



▲成田国際空港

Q イノシシによる農作物被害が発生して

います。千葉県全体に広がり、年々増加する野生イノシシ被害に対する早期の駆除が必要ではないか。

A 町内でも複数箇所

でイノシシによる被害や目撃情報が寄せられています。農地や農作物被害を

防止するため、猟友会と連携し箱わなを設置しているところですが、昨年度から獣類の捕獲については、通年実施できるよう対策を強化するとともに、イノシシ捕獲用として箱わな3基、くくりわな20基を新たに整備し、昨年度は3頭のイノシシを捕獲しました。

横芝光町非核平和宣言

世界の恒久平和と人類の安全は、世界共通の強い願いである。しかしながら、いまなお核兵器は存在しすべての人類に脅威を与え続けている。

このかけがえのない地球の平和と命を核から守るため、私たち横芝光町民は、人類史上最初の核被爆国民として、非核三原則を堅持し、すべての核兵器がこの地球上から廃絶される日が来ることを希求し、ここに非核平和を宣言する。